

令和2年度 親子農業体験教室実施結果

1 広報の方法

- ・ 小学校全校児童へのチラシ配付（明石市）、小学校への掲示（神戸市、西宮市、三木市）
- ・ 県下図書館や公民館等でチラシ配布
- ・ SNS（LINE@）による情報発信
- ・ 兵庫楽農生活センターホームページへの掲載
- ・ 兵庫楽農生活センターでチラシ配布

2 応募および参加の状況

(1) 応募数と参加家族数の推移

年 度		R 2	H 3 1	H 3 0
募集期間		3/17～4/27 (抽選方式)	3/31～4/25 (抽選方式)	4/10～4/26 (抽選方式)
お米づくり コース	応募家族数	56 家族	106 家族	194 家族
	参加家族数	54 家族 (216 名)	99 家族 (396 名)	101 家族 (404 名)
丹波黒大豆 づくりコース	応募家族数	18 家族	55 家族	58 家族
	参加家族数	18 家族 (72 名)	44 家族 (176 名)	41 家族 (164 名)

(2) 地域別参加家族数

	R2	H31	H30		R2	H31	H30
神戸市垂水区	13	35	55	西宮市	3	7	4
西区	9	24	35	加古川市	3	3	3
東灘区	5	10	5	姫路市	3	—	—
須磨区	4	8	8	宝塚市	2	2	1
灘区	6	7	2	芦屋市	1	3	1
中央区	3	2	3	尼崎市	1	2	1
長田区	2	—	2	三田市	1	—	—
兵庫区	—	1	1	高砂市	—	1	—
北区	—	—	1	伊丹市	—	1	1
明石市	16	37	18	計	72	143	141

(3) コロナ感染症対策

コロナ感染症拡大を防止するため、参加家族数を例年の半減とした。手指消毒液を設置してマスク着用や手洗いの励行をお願いするとともに、田植えの午前午後の2部制での実施、更衣室の順次入室などの制限、家族単位でまとまって行動することの意識づけ等を行った。

3 実施状況

(1) お米づくりコース

指導体制：4班体制（インストラクター5～8名＋地元農会長会名10～14名）

- ・ 第1回 「田植え」 6月13日（土） 52家族
- ・ 第2回 「除草・いきもの観察」 7月12日（日） 43家族



- ・第3回 「除草・かかしづくり」
8月 8日 (土) 42家族



- ・第4回 「稲刈り」
10月18日 (日) 46家族



- ・第5回 「飯ごう炊さん・収穫祭」 11月 1日 (日) 50家族



(2)丹波黒大豆づくりコース

指導体制：2班体制 (インストラクター3名)

- ・第1回 「黒大豆のお話・定植」
6月22日 (土) 18家族
- ・第2回 「除草・土寄せ・生きもの観察」
7月20日 (土) 18家族



- ・第3回 「追肥・土寄せ・水やり」
8月22日 (土)、23日 (日) 計18家族



- ・第4回 「枝豆収穫」
10月11日 (日) ~11月3日 (火) 計18家族



・第5回 「葉取り・飯ごう炊さん」
11月14日(土) 14家族



・第6回 「脱穀・選別・収穫祭」
12月12日(土) 17家族



4 参加者の感想

(1)お米づくりコース

- ・昨年に引き続き2回目になります。植える、草を抜く、刈る、それぞれの作業が昨年よりもコツが分かってきた気がしました。草抜きの大変なこと！簡単に”無農薬”を求めていましたが、実践されている方々に頭の下がる思いです。
- ・飯ごうのご飯をととてもおいしく食べることができて、子どももいつもはすごく時間をかけて食べていますが、すごい速さで食べていました。
- ・今のライフスタイルでは農作業に触れる機会は全くなく、家の近隣に田んぼも畑もない環境なので、息子にとって非常によい体験になりました。
- ・子供たちは、いきもの観察がいちばん良かったようでした。私は最後の飯ごう炊さんがとても印象深いです。天気も良く、炊きたてのお米を外で頂けたのは、貴重な体験でした。
- ・単発の体験ではなく、半年でいろんな体験ができたことは、子どもにとってすばらしい経験になりました。農業に興味を持ち積極的にやってみようと思える子になってくれればと思います。
- ・スタッフの方が親切で面倒見が良い方ばかりで楽しく体験させて頂きました。
- ・コロナで例年より対応が大変だったと思います。色々のご苦労もおありになったと思いますが、参加した者としてはいつも通り楽しめました。
- ・かかしづくりの時間が少なかったです。家で作ってくるのも時間がなく、結構親が大変です。
- ・稲刈りを途中でやめて、コンバインに切り替わったので、もう少しやりたかったです。
- ・インストラクターさんの声が届かず、聞こえないことが多くあったのが、残念です。
- ・例えば農薬や肥料と生態系への影響についてなど、環境との関係についても説明いただくと、もっと良いかと思いました。

(2)丹波黒大豆づくりコース

- ・黒豆の苗や花、実の着き方など意識したことがなく知らなかったが、半年かけて細かく親子で観察し、話題になり、楽しかったです。また、お米づくり体験と違い、個別のうねを与えていただいたので、植え付けや、追肥、谷上げ、葉取りなど、情がこもって作業ができたと思います。たくさんアドバイスを頂き、ありがとうございました。
- ・どの回もスタッフの方が丁寧に教えてくださり、子どもも親も大変興味深く勉強になりました。黒豆を育てるという1年の流れが分かり、より黒豆好きになりました。
- ・どの作業もとても楽しくできました。小学生の息子も十分にできる内容だったので、よかったです。子どもとの共通の話題にもなり、毎月の作業が楽しみでした。
- ・黒豆のことを知ることができて新鮮でよかったです。レシピ(豆ごはん)がよく、とてもおいしくいただきました。
- ・コロナ禍でどこにも行けない中、土に触れ空気に触れリフレッシュにもなりました。
- ・子どもの行事が入り参加できなくなってしまった回に連絡した際、何とか参加させてあげたいというスタッフさんの心遣いが大変うれしく心温まりました。
- ・枝豆の収穫は思った以上に時間のかかる作業であったので、半日程度必要とか、事前に知っておきたかった。
- ・説明がやや少なかったと思います。もう少し班をリードしてほしかったと思います。